

日本アジア投資株式会社
2023年3月期 第2四半期
決算補足資料

決算発表日: 2022年11月14日

1. 総括	P3
2. 当四半期の実績(前年同期比較)	P4
3. 中期経営計画の進捗状況	P9
4. 業績予想	P22
5. 参考情報	P26

本資料内の業績数値は全て従来連結基準にて表示しております。

1. 総括

- ✓ 当四半期の実績(対前年同期比増減)
 - 営業収益 669百万円(+75.8%) :国内上場株式の売却が進捗、プロジェクトからの利益が増加
 - 親会社株主に帰属する四半期純利益△655百万円(△12百万円) :引当金が増加、また、植物工場の黒字化が遅延

- ✓ 中期経営計画の進捗状況
 - 数値計画は下振れするものの、行動計画は順調に進捗
 - 営業収益達成率50.4%:株価の低迷した国内上場株式の売却を見合せ
 - 親会社株主に帰属する四半期純利益645百万円下振れ:減収に加え、引当金が増加、また、植物工場の生産量の計画未達による損失が増加
 - メガソーラーに次ぐ注力分野のヘルスケアと物流施設で、収益の計上と資産規模の拡大が進む

- ✓ 通期業績予想(対前回発表見込比増減)
 - 営業収益3,150百万円(+5%)、親会社株主に帰属する当期純利益160百万円(△70.9%)
 - 新規上場による株式売却が来期にずれ込み、既存の上場株式の株価が見込みを下回る
 - 未上場株式売却とプロジェクト売却は好調、上振れ見込み
 - 利益見込が下振れ。利益率の高い株式売却の減少の他、引当の増加や、植物工場の損失が加わる。

2. 当四半期の実績(前年同期比較)

ハイライト

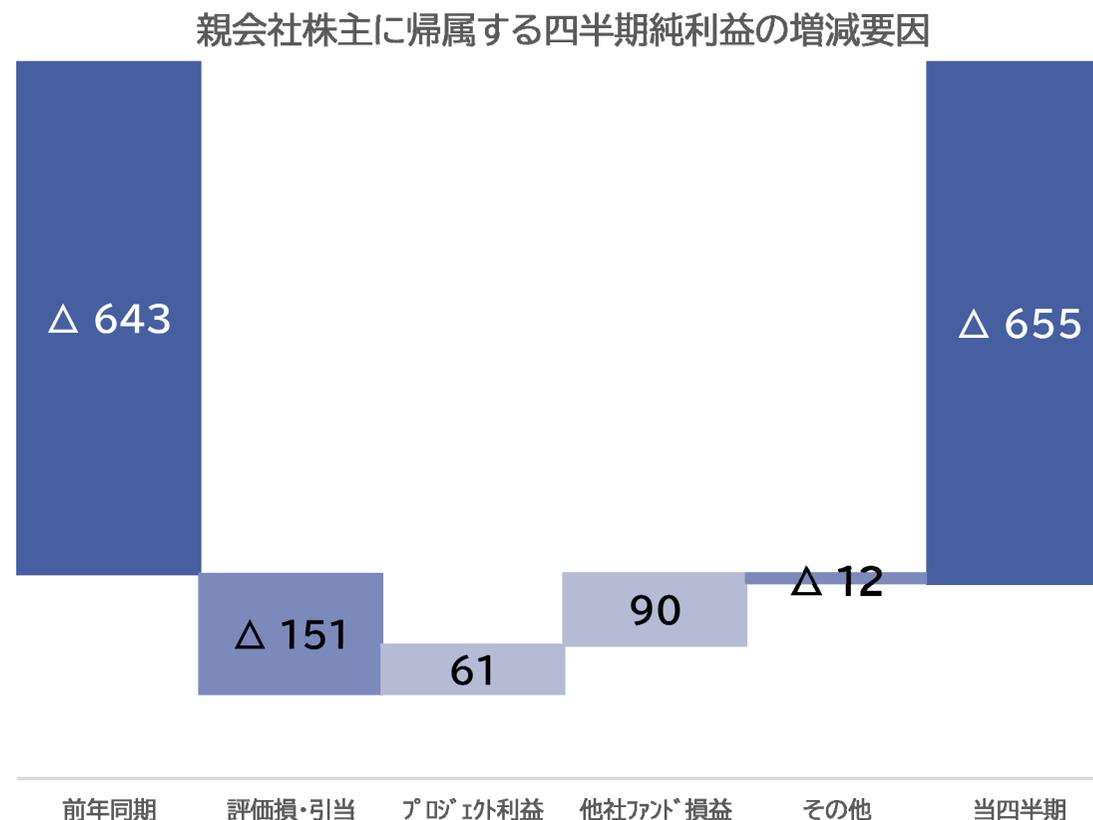
P5

営業収益・営業原価内訳

P8

2. 当四半期の実績－ハイライト P/L

(単位:百万円)	2022年3月期 第2四半期	2023年3月期 第2四半期	増減率
営業収益	381	↗ 669	75.8%
営業原価	327	↗ 715	118.8%
営業総利益	53	△46	-
販管費	550	552	0.4%
営業利益	△496	△598	-
経常利益	△538	△640	-
親会社株主に帰属 する四半期純利益	△643	↘ △655	-



- ✓ 増収要因：
 - ・プライベートエクイティ投資では、国内で上場株の売却が進捗
 - ・プロジェクト投資では、メガソーラー1件を売却、前期に売却した1件の物流施設の利益配当を受領
- ✓ 営業原価増加要因：
 - ・引当が増加、事業の進捗に大幅な遅れが生じている先・回収交渉に長期を要している先に対して計上
 - ・植物工場の黒字化が遅延し損失が増加
- ✓ 前期に発生していた他社ファンドからの損失(主に特別損失に計上)が減少

2. 当四半期の実績－ハイライト B/S

(単位:百万円)	2022年3月期	2023年3月期 第2四半期	増減率	主な増減要因(単位:億円)
総資産	14,972	13,576	△9.3%	
うち 現預金	2,740	↓ 2,394	△12.6%	返済△5、投融資△10、費用等△4、回収+16
うち プロジェクト投資 (営業投資有価証券・貸付金)	6,781	↓ 5,868	△13.5%	投融資実行+6、持分損△1、分配・売却等△14
うち 戦略投資 (営業投資有価証券)	1,783	1,665	△6.6%	投資実行+2 含み益△3
うち フィナンシャル投資 (営業投資有価証券(引当後))	3,029	2,957	△2.4%	投資実行+3、売却△3 含み益+1、引当金△2
借入金	5,943	↓ 5,448	△8.3%	返済△5
自己資本	7,779	↓ 7,019	△9.8%	損失△6、含み益△1

- ✓ 現預金は返済や費用等の支払により減少
- ✓ プロジェクト投資資産は投資回収が投資実行を上回り減少
- ✓ 借入金は、将来の成長に向けた投資資金を確保した上で、適切な水準まで返済する方針
- ✓ 自己資本は、損失の計上と、上場株式の含み益の減少に伴い減少

2. 当四半期の実績－ハイライト C/F

(単位:百万円)	2022年3期期 第2四半期	2023年3期期 第2四半期
営業活動によるCF	△1,232	↑ 126
投資活動によるCF	55	△0
財務活動によるCF	△697	↑ △494
CF増減額	△1,855	△342
期末残高	1,445	2,055

- ✓ 営業CF: 投資の回収が進捗したことや投資実行額が減少したことに伴い、黒字転換
- ✓ 財務CF: 借入金の返済額が減少し、支出額が縮小

2. 当四半期の実績－営業収益・営業原価 内訳

(単位:百万円)	合計		プライベートエクイティ投資		プロジェクト投資	
	2022年3期 第2四半期	2023年3期 第2四半期	2022年3期 第2四半期	2023年3期 第2四半期	2022年3期 第2四半期	2023年3期 第2四半期
営業収益	381	669	293	↑ 361	87	↑ 308
管理運営報酬等	81	69	77	65	3	3
営業投資有価証券売却高	176	441	176	↑ 292	-	↑ 149
組合持分利益・インカムゲイン等	95	136	32	0	63	↑ 135
その他営業収益	27	22	7	2	19	19
営業原価	327	715	292	520	35	195
営業投資有価証券売却原価	131	320	131	230	0	90
営業投資有価証券評価損・ 投資損失引当金繰入額	124	275	124	↑ 275	-	-
組合持分損失等	66	113	34	12	31	↑ 100
その他営業原価	4	6	1	1	2	4
営業総利益	53	△46	1	↓ △159	51	↑ 113

- ✓ プライベートエクイティ投資:増収・減益
 - 営業収益(売却高):国内上場株式の売却が増加
 - 営業原価(評価損・引当金):事業進捗の大幅遅延先や、回収交渉が長期化した先に対する引当金を計上
- ✓ プロジェクト投資:増収・増益
 - 営業収益(売却高):メガソーラープロジェクト1件を売却
 - 営業収益(組合持分利益・インカムゲイン等):前期に売却した物流施設の利益配当を受領
 - 営業原価(組合持分損失等):植物工場の黒字化の遅れ・新規プロジェクトの立上げに伴いコストが増加

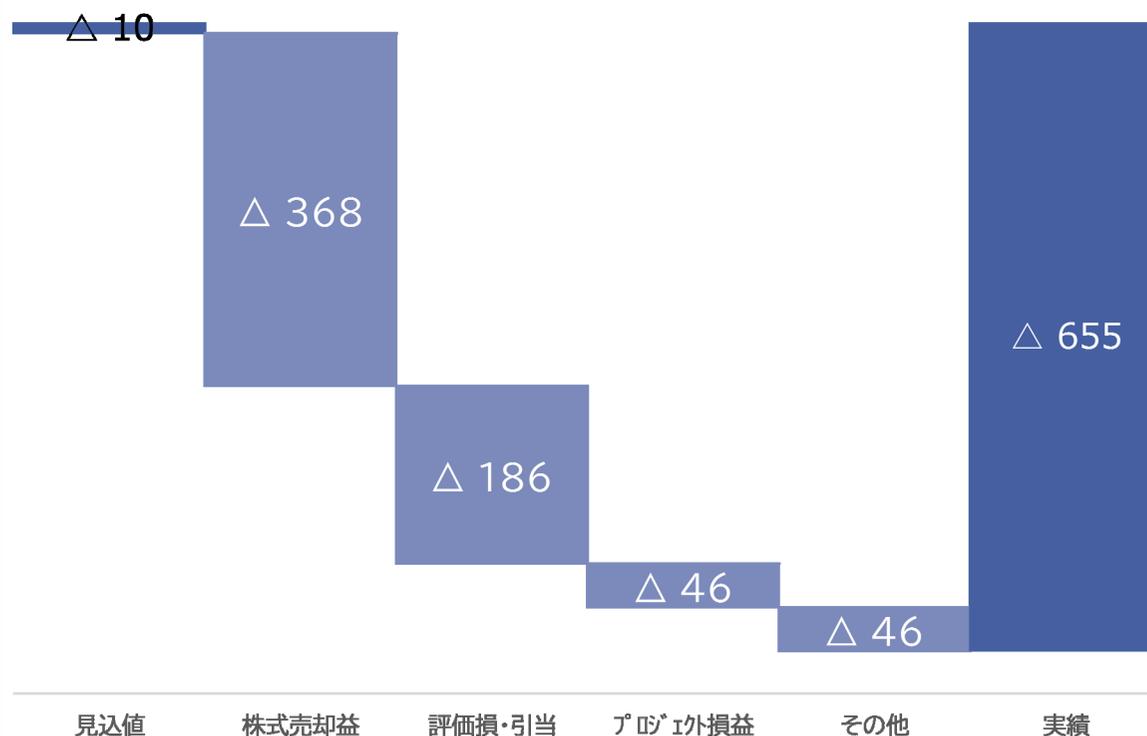
3. 中期経営計画の進捗状況

数値計画	P10
行動計画	P11
プライベートエクイティ投資	P12
再生可能エネルギープロジェクト	P14
ディストリビューションセンタープロジェクト	P16
ヘルスケアプロジェクト(高齢者施設)	P17
ヘルスケアプロジェクト(障がい者グループホーム)	P18
新規事業開発	P20

3. 中期経営計画の進捗状況－数値計画

単位:百万円	修正見込 (2022年 8月修正)	2023年3月期 第2四半期	達成率
営業収益	1,330	↘ 669	50.4%
営業原価	740	715	96.8%
営業総利益	590	△46	-
販管費	540	552	102.3%
営業利益	50	△598	-
経常利益	0	△640	-
親会社株主に帰属する 四半期純利益	△10	↘ △655	-

親会社株主に帰属する四半期純利益の見込・実績差異



- ✓ 営業収益：
 - ・国内上場株式の一部につき、株価低迷により売却を見合せ
 - ・海外未上場株式の売却で手続きが遅延したものがあり、下期にずれ込む
- ✓ 親会社株主に帰属する四半期純利益：
 - ・減収に伴い株式売却益が減少
 - ・引当金が増加、また、プロジェクトでは植物工場の生産量が計画未達となり黒字化時期が想定よりも遅延

3. 中期経営計画の進捗状況－行動計画

	計画期間(3年間)の行動計画	2年目(2022年4月以降6か月間)の進捗状況
プライベートエクイティ投資	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 既存資産を流動化し資産の入替を完了 ✓ 3本の新規ファンドを組成 ✓ 既存戦略投資先のExit支援、新規分野への戦略投資の実行 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 事業承継を支援する第2号ファンドを設立 ✓ 新たに2件の戦略投資を実行
再生可能エネルギー	<ul style="list-style-type: none"> ✓ ベトナムの屋根置きソーラー、国内のバイオガスへの投資を拡大 ✓ 国内メガソーラーは完成後に順次売却し売却益を計上 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 物流施設屋上のNon-FIT型太陽光発電システムに投資決定 ✓ 福島県いわき市のメガソーラー発電所を売却
ディストリビューションセンター(物流施設)	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 重点分野として投資残高を増加 ✓ プロジェクトの初期段階に投資 ミドル・リスク&リターン志向のレイターステージの投資家を呼び込み採算性を向上 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 前期に売却した物流施設の利益配当を受領 ✓ 埼玉県日高市のプロジェクトを売却(収益の計上は第3四半期の見込)
ヘルスケア(高齢者施設)	<p>案件を厳選して投資を実行</p>	<p>港区南青山のプロジェクトを売却(収益の計上は第3四半期の見込)</p>
ヘルスケア(障がい者グループホーム)	<p>大手銀行、リース会社とのファンド組成により50棟に投資を実行</p>	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 香川県高松市、群馬県太田市・桐生市のプロジェクトが竣工 ✓ 当社が開発し完成した拠点は10拠点まで拡大 ✓ リース会社等と組成したファンドが開発し完成した拠点は2拠点に増加
新規事業開発	<p>既存投資テーマの周辺分野、及びコロナ禍に対応した事業テーマから将来の収益の柱となる新規事業を開発</p>	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 2件のエンタテインメントコンテンツへ投資実行(うち1件は10月に投資実行) ✓ 神奈川県藤沢市のシェアアトリエ施設へ投資実行

3. 中期経営計画の進捗状況－プライベートエクイティ投資



事業承継支援の第2号ファンドを設立

1号ファンドの主な投資先企業

	株式会社 山 広
	
快適生活のお手伝い  Mochida	★輝ける未来へのお手伝い。 株式会社 かがやき総合保険企画

ファンド概要

名称	サクセッション2号投資事業有限責任組合
設立日	2022年8月16日
無限責任組合員	AJキャピタル(株) (株)あおぞら銀行と当社が50%ずつ出資する合弁会社)
ファンド総額	1,801百万円(設立時点)
有限責任組合員	あおぞら銀行、当社
主な投資対象	日本国内の事業承継問題を抱える中小企業

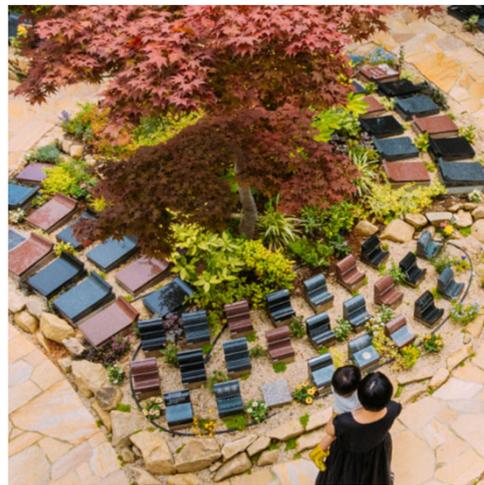
- ✓ あおぞら銀行と当社の合弁会社であるAJキャピタルが運営
- ✓ 国内中小企業の事業承継を支援する2号ファンド
- ✓ 投資対象は主にスモールキャップゾーン(企業価値で10億円未満)
- ✓ 全国の地域金融機関と連携し、取引先の中小企業の円滑な事業承継を目指す
- ✓ 2017年6月に設立し運営中の1号ファンドは、7社に投資し、これまでに3社の事業承継に成功

3. 中期経営計画の進捗状況 – プライベートエクイティ投資

12 つくる責任
つかう責任



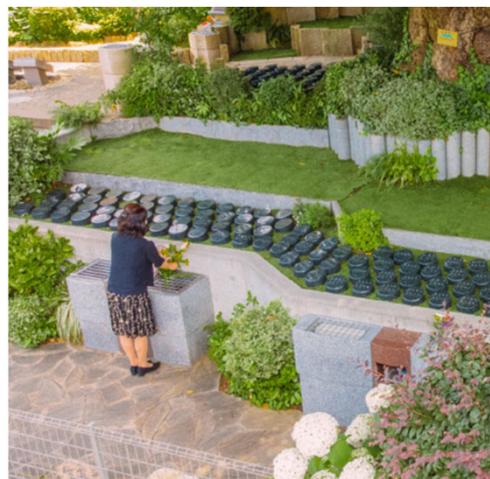
(株)366(サンロクロク)
永代供養型樹木葬の
プロデュース・宗教法人
のDX支援



静岡県 裾野市
光明寺 樹木葬 裾野の森®



神奈川県 小田原市
願修寺 樹木葬 小田原の森™



東京都 台東区
長明寺 樹木葬 谷中樹陵 久遠®

新たに2社の戦略投資を実行



サイクループ(株)
電動アシスト自転車のサブ
スクリプションサービス
“NORUDE” (ノルーデ) の
運営

電動アシスト自転車の最新モデルに
買わずに“借りて”乗る
月額1,990円(税込)~!!

NORUDE サイクループ®

日本サブスクリプションビジネス大賞2021
BtoC部門 金賞受賞

業界トップクラスの契約実績!! 電動アシスト自転車のサブスクリプション“NORUDE”

プラン/グレード	車種	月額定額 (税込)			プラン/グレード	車種	月額定額 (税込)	
		3年契約	2年契約	1年契約			1年契約	6ヵ月契約
エントリー	Panasonic VIVI SX, Panasonic SW	1,990円	2,189円	2,408円	エントリー	Panasonic VIVI SX	5,990円	6,470円
スタンダード	Panasonic VIVI DX, YAMAHA PAS With	2,680円	2,948円	3,243円	スタンダード	Panasonic VIVI DX, YAMAHA PAS With	6,840円	7,388円
プライム	Panasonic VIVI DX, YAMAHA PAS With SP	3,493円	3,842円	4,227円	スポーツ ミニベロ	Panasonic グリッター, Panasonic ベロスター ミニ	7,877円	8,508円
シティー	Panasonic ティモ S, YAMAHA PAS City	3,140円	3,454円	3,799円	スポーツ 700C	Panasonic グリッター, Panasonic ベロスター ミニ	7,877円	8,508円
押し歩き	Panasonic VIVI L 押し歩き	2,700円	2,970円	3,267円	E-bike	Panasonic JETTER 440, KHS SURGE, MIYATA EX-CROSS e	8,571円	9,257円
スポーツ	Panasonic グリッター, Panasonic ベロスター ミニ	2,609円	2,870円	3,157円	NORUDE 一般利用コース・デリバリー配達員専用コース共通費用【オプション特約】 ■ 車種手数料 【一般利用コース】 3,520円 【デリバリー配達員専用コース】 5,280円 ※ 車種手数料の軽減が適用される車種は別途記載 ■ 納車配送費用 ¥750/台 3,850円~ ※ 地域により異なる場合があります ■ 返却時引取り費用 ¥750/台 3,850円~ ※ 地域により異なる場合があります ■ 盗難・損害賠償免状特約 ¥750/月 月330円 ※ 盗難被害時の賠償が全額免除も、車体修理時の賠償が対象 ■ 故障対応レッカー特約 ¥750/月 月220円 ※ 車体修理費用に要料まで対応して修理費 (※一般利用コースのみの特約) ■ カラー指定特約 ¥750/月 月110円 ※ 一般利用にオプションの車種カラーも選択 (※一般利用コースのみの特約)			
ハイスペックスポーツ	Panasonic オフタイム	2,999円	3,299円	3,629円				
子ども乗せ (8)	Panasonic キョウアンズ, YAMAHA PAS Babby un SP	3,496円	3,846円	4,230円				
子ども乗せ (10)	Panasonic キョウアンズ DX, YAMAHA PAS Babby un SP	3,503円	3,853円	4,239円				
子ども乗せ (前後3人乗り)	Panasonic キョウアンズ DX, YAMAHA PAS Babby un SP	4,110円	4,521円	4,973円				
E-bike	Panasonic JETTER 440, KHS SURGE, MIYATA EX-CROSS e	3,952円	4,347円	4,782円				

物流施設屋上のNon-FIT型太陽光発電システムに投資決定



戦略投資先
KICホールディングス(株)



戦略投資先
スマートソーラー(株)



3 BCP対策:
停電時にも大容量蓄電池で一定電力を確保し、テナント様の事業継続性を強化。

- ✓ 当社の戦略投資先であるKICホールディングスが開発した物流施設に、同じく戦略投資先であるスマートソーラーが開発したNon-FIT型の太陽光発電システムを設置
- ✓ 屋上に設置する太陽光パネルと、蓄電池、商用電源を複合的・効率的に運用
- ✓ 施設の利用電力の60%を太陽光で賄う、低環境負荷型の物流施設
- ✓ 施設の利用者は発電したクリーン電力を安価に消費可能、停電時には自立した非常用電源としても機能
- ✓ 当社の戦略投資先企業同士の協業が成功した事例

3. 中期経営計画の進捗状況－再生可能エネルギー

7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



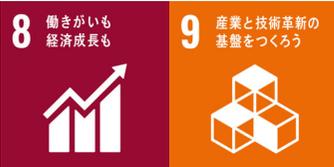
福島県いわき市のメガソーラー発電所を売却



所在地	福島県いわき市
太陽電池パネル 設置容量	約2.4 MW
年間予想発電量	約2,950 MWh (一般家庭約620世帯分※)
売電開始	2022年7月
売却	2022年8月

※ 太陽光発電協会 表示ガイドライン(2022年度)に基づき4,743kWh/年にて換算

3. 中期経営計画の進捗状況ーディストリビューションセンターー



KIC狭山日高ディストリビューションセンターを売却



戦略投資先
KICホールディングス(株)



所在地	埼玉県日高市
アクセス	圏央自動車道「狭山日高IC」より約0.5 km 西武新宿線「狭山市駅」より約4.8 km 国道16号線、関越自動車道もアクセス良好
物件概要	延床面積約15,113 m ² 、地上4階建
初回投資実行	2021年1月
竣工	2022年4月
売却	2022年6月

3. 中期経営計画の進捗状況－ヘルスケア－高齢者施設



港区南青山の高齢者施設を売却



パートナー企業：
AIPヘルスケア
ジャパン合同会社

施設名	プレザンリュクス南青山
最寄り駅	東京メトロ銀座線・半蔵門線・千代田線「表参道」駅 徒歩15分 東京メトロ日比谷線「広尾」駅 徒歩17分 渋谷駅前より都営バスにて7分「南青山7丁目」バス停 徒歩6分
物件概要	敷地面積:1,691.52㎡ 構造:鉄筋コンクリート造 地上5階建 1-5階 介護付有料老人ホーム(定員61名)
投資実行	2021年1月
竣工	2022年5月
売却	2022年6月

3. 中期経営計画の進捗状況－ヘルスケア－障がい者グループホーム



香川県・群馬県で新たに3拠点が竣工



戦略投資先
ソーシャルインクルー(株)



ソーシャルインクルーホーム太田薮塚(群馬県)



ソーシャルインクルーホーム高松香川町(香川県)

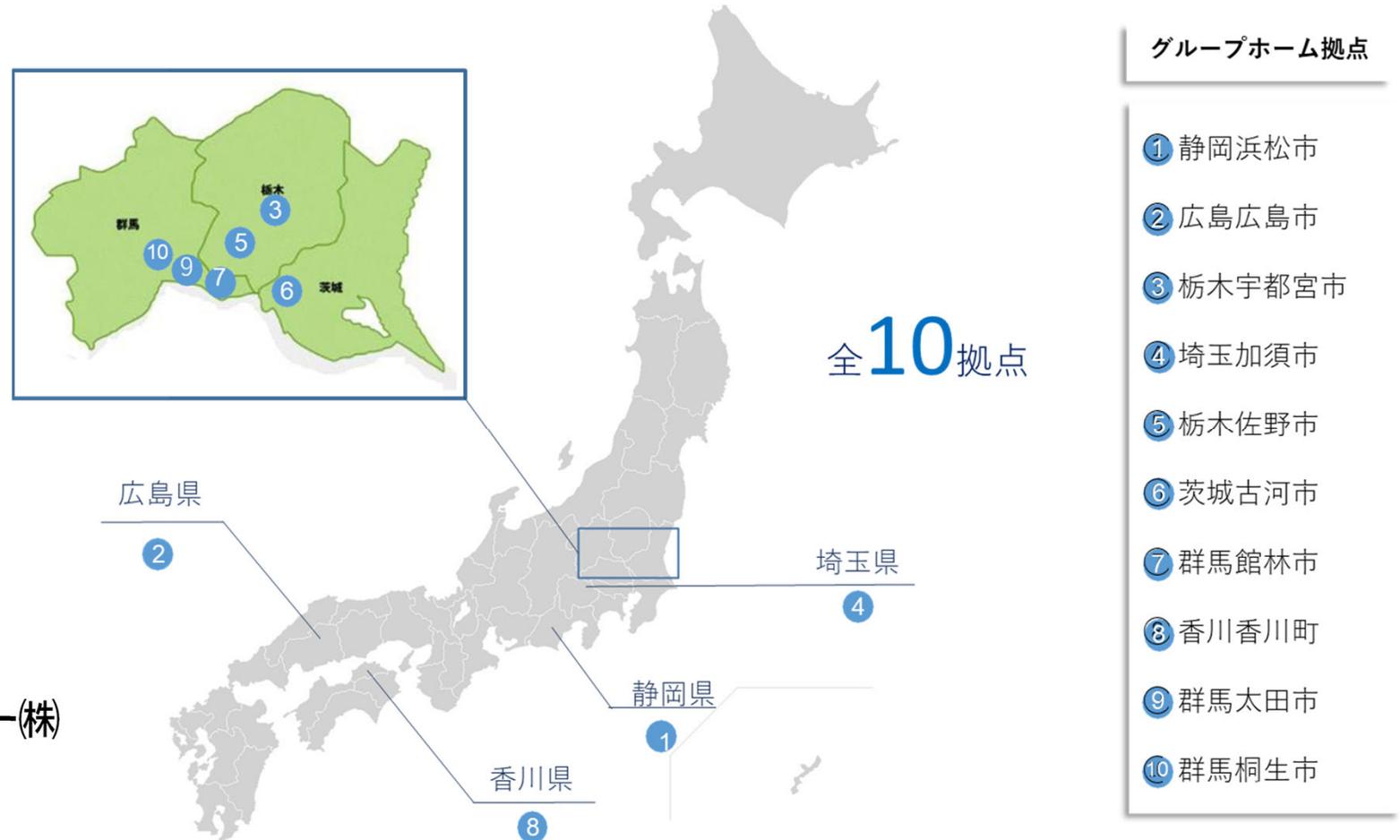
ソーシャルインクルーホーム桐生新里(群馬県)



3. 中期経営計画の進捗状況－ヘルスケア－障がい者グループホーム



地域金融機関との連携強化により全10拠点まで拡大



パートナー企業：
ソーシャルインクルー(株)

- ✓ 地域金融機関との連携強化により開発スピードが加速・対象地域が拡大
- ✓ グループホームの運営は、戦略投資先企業であるソーシャルインクルー(株)が担う
- ✓ プロジェクトの規模拡大により、同社の成長を支援する投資戦略

3. 中期経営計画の進捗状況－新規事業開発



2件のエンタテインメントコンテンツへ投資実行

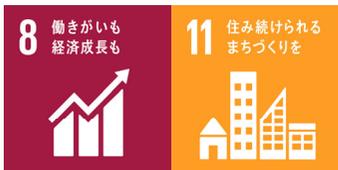


パートナー企業:ぴあグローバルエンタテインメント(株)



”NAKED FLOWERS FOR YOU”
ぴあ(株)を通じて都内初常設の五感で巡る体験型アート展へ投資参画

”Anime Festival Asia Singapore 2022”
10月に東南アジア最大級のJ-POP カルチャーイベントに実行委員として投資参画、PGEも実行委員に参画



神奈川県藤沢市のシェアアトリエ施設へ投資実行



写真： エンジョイワークスが神奈川県逗子市桜山の廃工場をリノベーションした「桜山シェアアトリエ」



パートナー企業：
(株)エンジョイワークス



- ✓ 神奈川県藤沢市の元工場をシェアファクトリー・シェアアトリエ等へと改装・再生し、クリエイターやアーティストが活動できる施設として再生するプロジェクトへ投資実行
- ✓ パートナー企業のエンジョイワークスは、創業以来15年に亘り、地域の住民や事業者、地域金融機関や自治体と連携して、特徴のある様々な不動産開発・再生プロジェクトで実績
- ✓ クラウドファンディングの共感投資ファンド「ハロー！RENOVATION」を活用し、多様な関係人口から出資を募り、物件の利活用に必要な資金を調達

2023年3月期の事業方針 P23

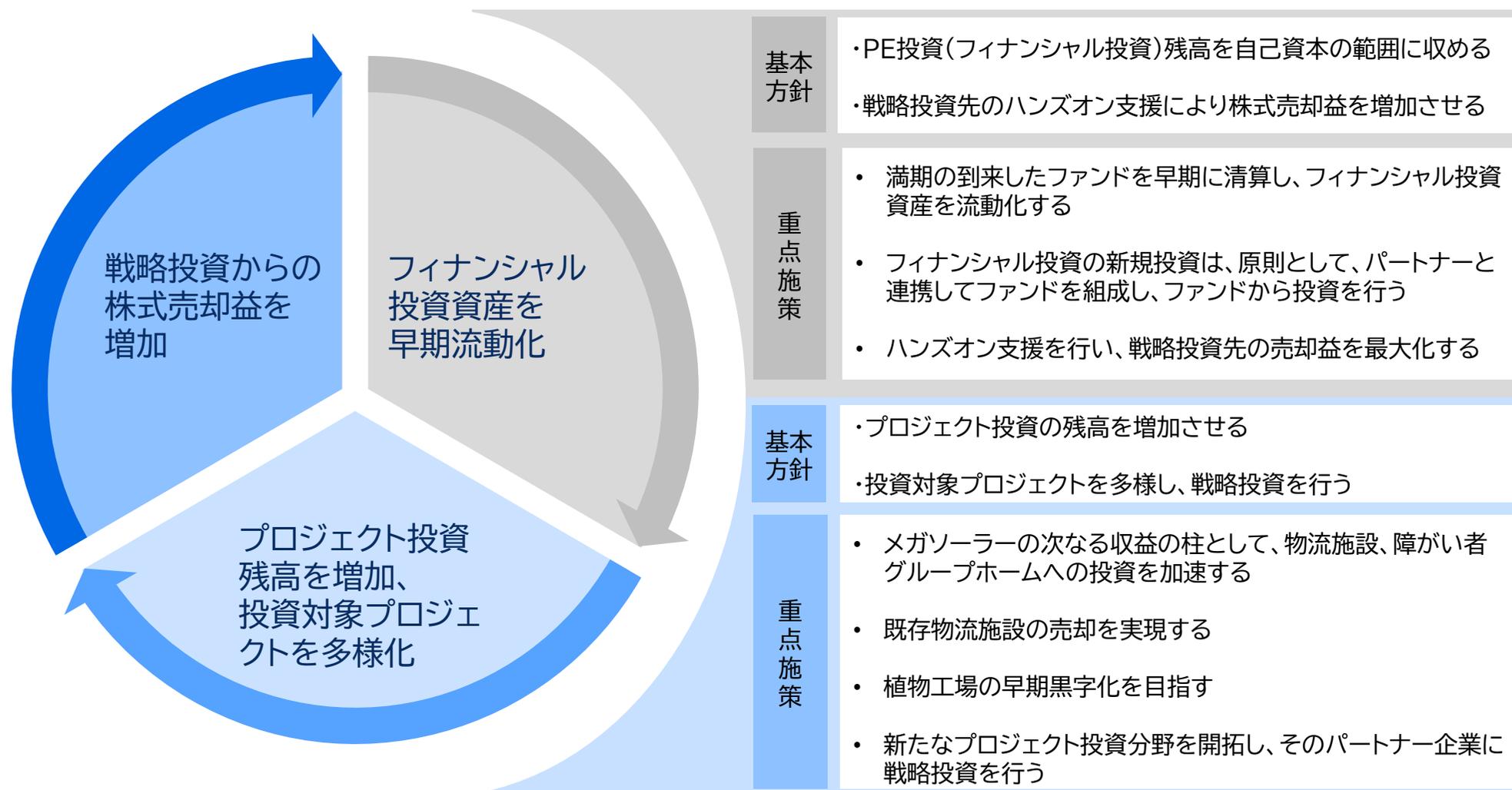
業績見込値の詳細 P24

将来に関する記述等についてのご注意 P25

4. 業績予想－2023年3月期の事業方針

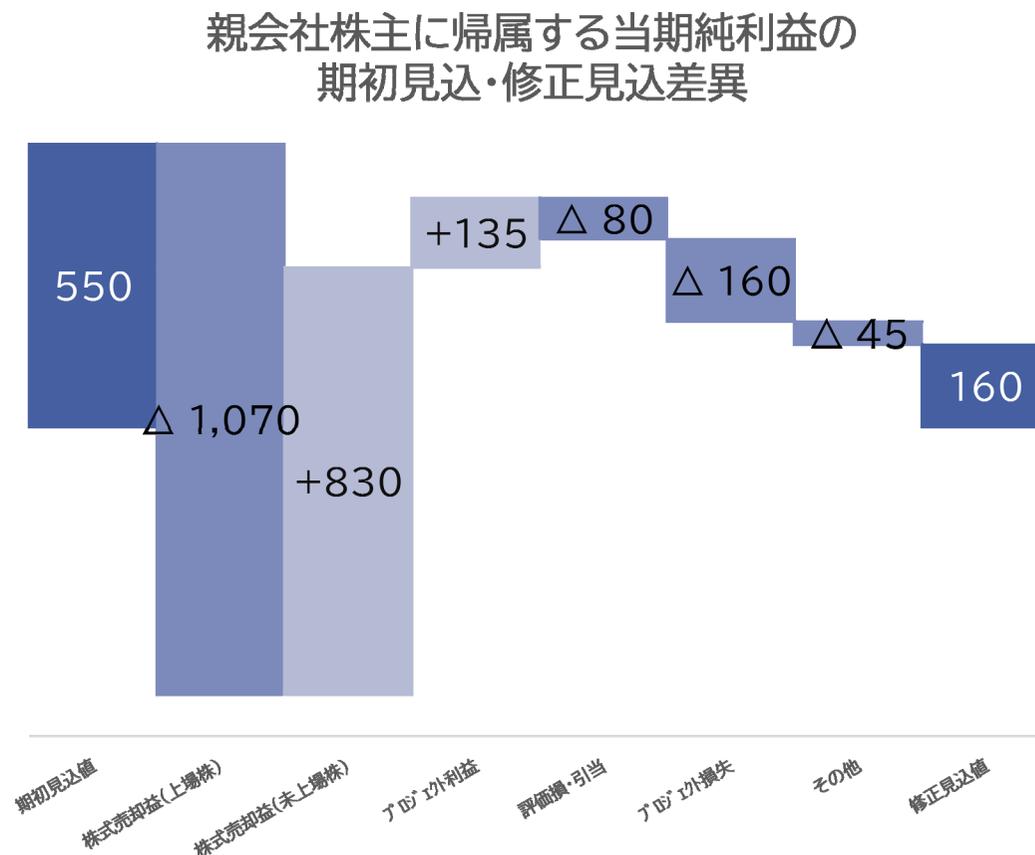
事業方針

- ✓ 既存のプライベートエクイティ(PE)投資(フィナンシャル投資)資産を売却し、利益・資金を確保する
- ✓ 新たな投資方針に基づき、プロジェクト投資の残高を増加させる
- ✓ プロジェクト投資での協業を通じたハンズオン型の投資スタイルを確立し、戦略投資からの株式売却益を増加させる



4. 業績予想－業績見込値の詳細

単位:百万円	期初見込 (2022年5月 発表)	修正見込 (2022年11月 14日発表)	増減率
営業収益	3,000	↗ 3,150	5.0%
営業原価	1,050	↗ 1,690	61.0%
営業総利益	1,950	↘ 1,460	△25.1%
販管費	1,200	1,140	△5.0%
営業利益	750	320	△57.3%
経常利益	650	280	△56.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	550	↘ 160	△70.9%



- ✓ 上場株式の売却益が大きく下振れ見込み。
国内の新規上場による株式売却はロックアップ規制により来期にずれ込み、既存の上場株式の売却は株価が見込みを下回る。
- ✓ 未上場株式売却益は上振れ見込み。新規上場により来期以降に売却を想定していた株式を、M&Aにより当期に全株売却予定。
- ✓ プロジェクトの売却益も上振れ見込み。
高齢者施設、物流施設、その他のプロジェクトで、すでに売却手続きを終え、利益の確定を待つ。
- ✓ 利益見込が下振れ。利益率の高い上場株式の売却が減少、引当の増加に加え、植物工場の黒字化遅延による損失が加わる。

4. 業績予想－将来に関する記述等についてのご注意

- ✓ 業績予想につきましては、当社グループが展開するプライベートエクイティ投資はその事業特性上株式市場等の変動要因による影響が極めて大きく、加えて昨今の変動の激しい環境下においては合理的な業績予想が困難なため、当社は業績予想を行っておりません。
- ✓ しかしながら、投資家及び株主の皆さまの利便に資するべく、業績予想に代えて、ある一定の前提を元に策定した「従来連結基準による見込値」を、数値の確度は低いものの、参考情報として開示しております。
- ✓ なお、当該「従来連結基準による見込値」をはじめとする本資料に掲載されている全ての将来に関する記述は、当社が現時点において入手している情報及び一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の数値は様々な要因により記述されている内容とは大きく異なる可能性があります。

再生可能エネルギープロジェクト一覧	P27
プロジェクト投資 案件一覧	P28
戦略投資先企業一覧	P32
アジアネットワーク	P33
主要データの推移	P34
営業収益・営業原価 内訳	P36
投資領域	P37
収益構造	P38
JAICの強み	P40
SDGsへの取り組み	P41
会社概要	P42

メガソーラープロジェクト

売電中 9件(11発電所) 22.2MW

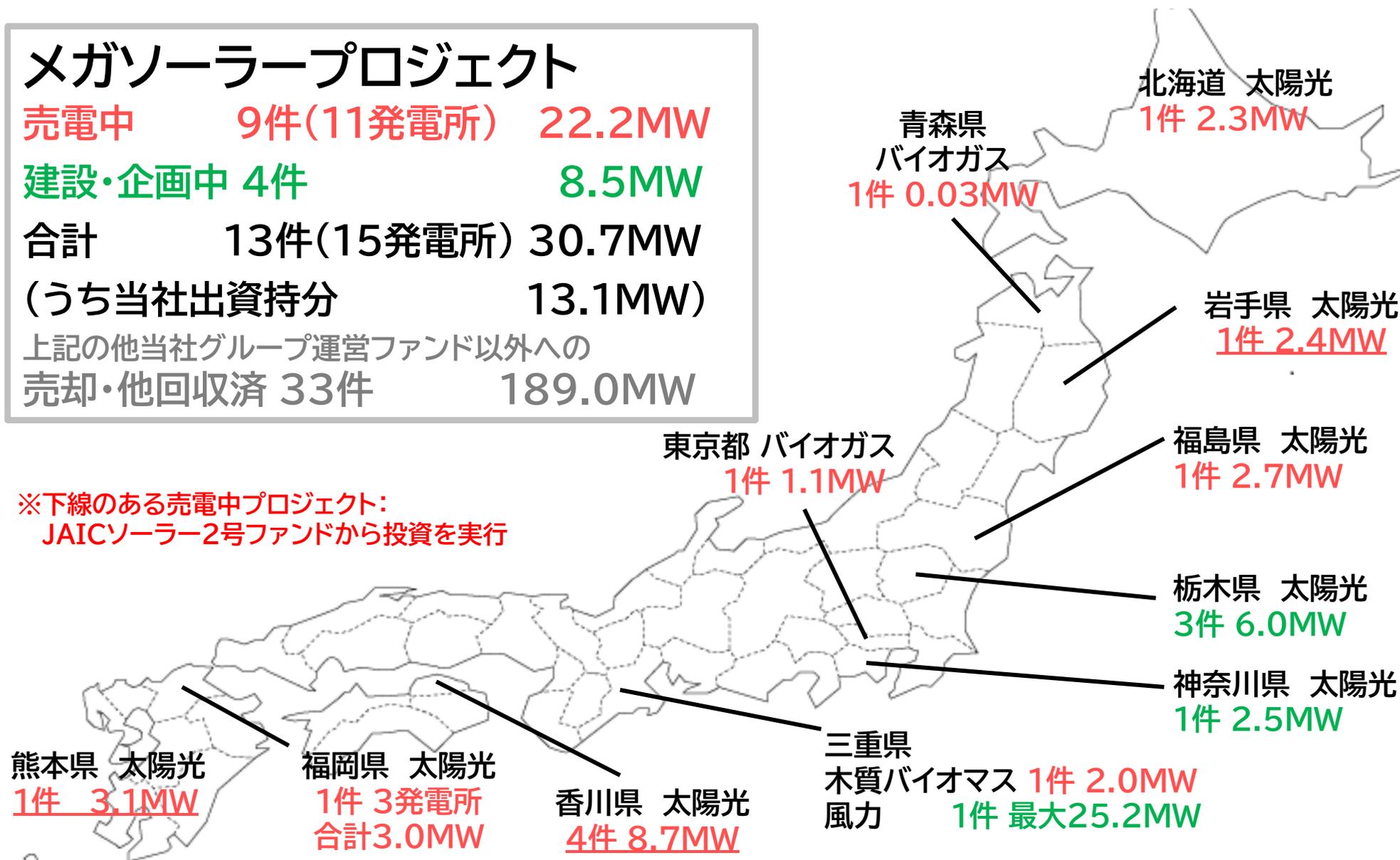
建設・企画中 4件 8.5MW

合計 13件(15発電所) 30.7MW

(うち当社出資持分 13.1MW)

上記の他当社グループ運営ファンド以外への
売却・他回収済 33件 189.0MW

※下線のある売電中プロジェクト:
JAICソーラー2号ファンドから投資を実行



※各プロジェクトに対する当社の出資比率はプロジェクト毎に異なるため、当社の投資額や当社に帰属する売電収益の金額は、必ずしもプロジェクトのMW数に連動しておりません。

プロジェクト投資 案件一覧-1 (2022年9月末)



プロジェクト種類		発電所名/所在地	発電容量 (MW)	プロジェクト進捗状況	FIT (税抜、円)
メガソーラー 発電	1	熊本県球磨郡錦町(※)	3.1	売電中 (2015年12月売電開始)	40
	2	野間池ソーラー発電所(※)	2.4	売電中 (2017年5月売電開始)	36
	3	御田神辺池ソーラー発電所(※)	1.5	売電中 (2017年9月売電開始)	32
	4	岩手一関ソーラーパーク(※)	2.4	売電中 (2018年1月売電開始)	36
	5	中王田池ソーラー発電所(※)	2.4	売電中 (2018年4月売電開始)	36
	6	東王田池ソーラー発電所(※)	2.4	売電中 (2018年7月売電開始)	36
	7	広野ソーラーパーク	2.7	売電中 (2020年2月売電開始)	40
	8	厚岸ルークシュポール太陽光発電所	2.3	売電中 (2020年5月売電開始)	40
	9	赤田太陽光発電所(神奈川県)	2.5	建設中	32
	10	うきは市しらかべ太陽光発電所、 うきは市みずのさと太陽光発電所、 うきは市みのうアルプス太陽光発電所	合計3.0	売電中 (2020年3月～5月売電開始)	36
	11	栃木県	2.0	企画中	36
	12	栃木県	2.0	建設中	32
	13	栃木県	2.0	企画中	32
合計 30.7 MW (うち当社出資持分 13.1 MW)					

※：JAICソーラー2号投資事業有限責任組合から投資しているプロジェクト。

プロジェクト投資 案件一覧-2 (2022年9月末)

プロジェクト種類		所在地	発電容量 (MW)	プロジェクト進捗状況	FIT(税抜、円)
木質バイオマス発電		三重県松阪市	2.0	売電中 (2018年1月売電開始)	-
バイオガス発電	1	東京都羽村市	1.1	売電中 (2021年3月売電開始)	39
	2			バイオガスを生成する食品リサイクル会社 (バイオガス発電所オペレーター)	-
	3	青森県上北郡東北町	0.03	売電中 (2018年11月売電開始)	39
風力発電		三重県	最大25.2	企画中	22

プロジェクト種類		所在地	規模	プロジェクト進捗状況
植物工場		兵庫県丹波篠山市	年間生産量 合計約470t	1号工場 2019年3月稼働 2号工場 2022年8月全面稼働
物流施設	1	神奈川県厚木市	延床面積 10,890㎡(予定)、地上2階建	建設中(2022年10月竣工)
	2	神奈川県海老名市	未定	建設・企画中
	3	東京都あきる野市	延床面積 25,804㎡(予定)、地上4階建	建設・企画中
	4	非公開	非公開	建設・企画中
	5	非公開	非公開	建設・企画中

プロジェクト投資 案件一覧-3 (2022年9月末)

プロジェクト種類		所在地	規模	プロジェクト進捗状況
高齢者施設	1	東京都江東区東雲	8階建複合施設 定員100名	建設中
障がい者グループホーム	1	静岡県浜松市	入居者用20部屋、短期入所用2部屋	営業中(2020年8月営業開始)
	2	広島県広島市	同上	営業中(2020年8月営業開始)
	3	栃木県宇都宮市	同上	営業中(2021年9月営業開始)
	4	埼玉県加須市	同上	2022年2月完成
	5	栃木県佐野市	同上	営業中(2022年9月営業開始)
	6	茨城県古河市	同上	営業中(2022年10月営業開始)
	7	群馬県館林市	同上	2022年3月完成
	8	香川県高松市	同上	2022年5月完成
	9	群馬県太田市	同上	2022年6月完成
	10	群馬県桐生市	同上	2022年9月完成
	11	埼玉県川越市	同上	建設中
	12	福島県いわき市	同上	建設中
	13	香川県東かがわ市	同上	建設中

プロジェクト投資 案件一覧-4 (2022年9月末)

プロジェクト種類		所在地	内容	プロジェクト進捗状況
その他	1	愛知県	商業ビル(敷地面積 1,752m ² 、地下1階地上6階建)	営業中(既存ビルへの投資)
	2	—	体験型アート展「Naked Flowers For You」	2022年3月より有楽町マルイ8階で開催中
	3	神奈川県藤沢市	元工場をリノベーションしたシェアアトリエプロジェクト	企画中
	4	—	電動アシスト自転車のサブスクリプションプロジェクト	2022年8月投資実行
	5	非公開	非公開	非公開
	6	非公開	非公開	非公開

戦略投資先企業一覧



リニューアブル・ジャパン株式会社

メガソーラープロジェクトの
パートナー企業

2021年12月22日 東証マザーズ 上場



スマートソーラー株式会社

メガソーラープロジェクトの
パートナー企業



ソーシャルインクルー株式会社

障がい者グループホームプロジェクト
のパートナー企業



株式会社森久エンジニアリング
株式会社モーベルファーム
(株)森久エンジニアリング子会社)

スマートアグリ(野菜)プロジェクトの
パートナー企業



MD-Farm株式会社

スマートアグリ(イチゴ)プロジェクトの
パートナー企業



KICホールディングス株式会社

ディストリビューションセンター
(物流施設)投資のパートナー企業



株式会社366

永代供養型樹木葬プロジェクトの
パートナー企業



サイクループ株式会社

電動アシスト自転車のサブスクリプション
プロジェクトのパートナー企業

アジアネットワーク

【瀋陽】（ファンド出資者）

- ・瀋陽市渾南新区市政府（協力協定先）
- ・瀋陽高新技術産業開発区
- ・瀋陽万科企業有限公司

【煙台】（提携先）

- ・煙台市政府（当社代表が新興産業国際顧問に就任）
- ・煙台市投資促進センター（協力協定先）

【青島・山東半島藍色経済区】（提携先）

- ・藍色経済区産業ファンド（戦略的提携先）
- ・青島市政府（当社が国際投資促進顧問に就任）

【青島】（協力先）

- ・中国青島（日本）商工センター

【成都】（提携先）

- ・成都高新技術産業開発区管理委員会（協力協定先）
- ・上海利暘文化科技發展有限公司（協力協定先）

【西安】（提携先）

- ・西安高新技術産業開発区（協力協定先）

【武漢】（提携先）

- ・武漢市商務局（協力協定先）

【瀋陽】（100%子会社）

【天津】（100%子会社）

【上海】（100%子会社）

【日本】（提携先）

- ・(株)アジアマーケット企画
- ・AIS CAPITAL(株)

【上海】（ファンドの共同運営）

- ・サイバーエージェント・キャピタル

【香港】（株主・提携先）

- ・First Eastern Investment Group

【ハノイ・ホーチミン】

- ・Vietnam Maritime Commercial Joint Stock Bank（提携先）
- ・(株)ワールド・リンク・ジャパン（協力先）

【バンコク】（提携先）

- ・KT Zmico Securities Company Limited
- ・VNET Venture Capital Management Securities Co.,Ltd.

【シンガポール・マレーシア・インドネシア】 協力先

- ・BA Partners Pte.Ltd.（当社OB運営会社）
- ・Lingua Franca Holdings Pte.Ltd.（当社OB運営会社）

主要データの推移 ①

・ファンドの状況、投資の状況

(単位:百万円)	18年3月期	19年3月期	20年3月期	21年3月期	22年3月期	22年3月期 第2四半期	23年3月期 第2四半期
ファンド設立・増加額	1,000	2,000	1,359	151	1,001	1,001	1,801
ファンド運用残高 ※1	19,150	16,494	17,390	16,450	16,463	15,884	16,787
うち 当社グループ出資額 ※1	5,867	5,344	5,163	5,434	4,953	4,716	3,849
投資/融資実行額 総額 ※2	3,887	3,749	3,374	1,767	3,420	2,214	1,324
投資/融資残高 総額 ※2	13,981	13,951	15,101	12,855	13,784	14,741	13,618
投資/融資実行額 プロジェクト投資※2	2,681	3,612	2,150	1,445	1,938	932	600
投資/融資残高 プロジェクト投資※2	3,582	5,514	6,696	6,088	6,344	6,986	6,191
投資/融資実行額 プライベートエクイティ投資※2	1,205	136	1,224	322	1,482	1,282	724
投資/融資残高 プライベートエクイティ投資※2	10,398	8,437	8,405	6,767	7,440	7,754	7,427

※1 投資資産を保有した状態で清算期間に入るファンドが増加したため、2021年3月期より、清算期間中のファンドを含めています。

※2 当社グループによるプロジェクトに対する融資実行が増加したため、2021年3月期より、プロジェクトに対する融資（破産更生債権等を除く）を含めています。

主要データの推移 ②



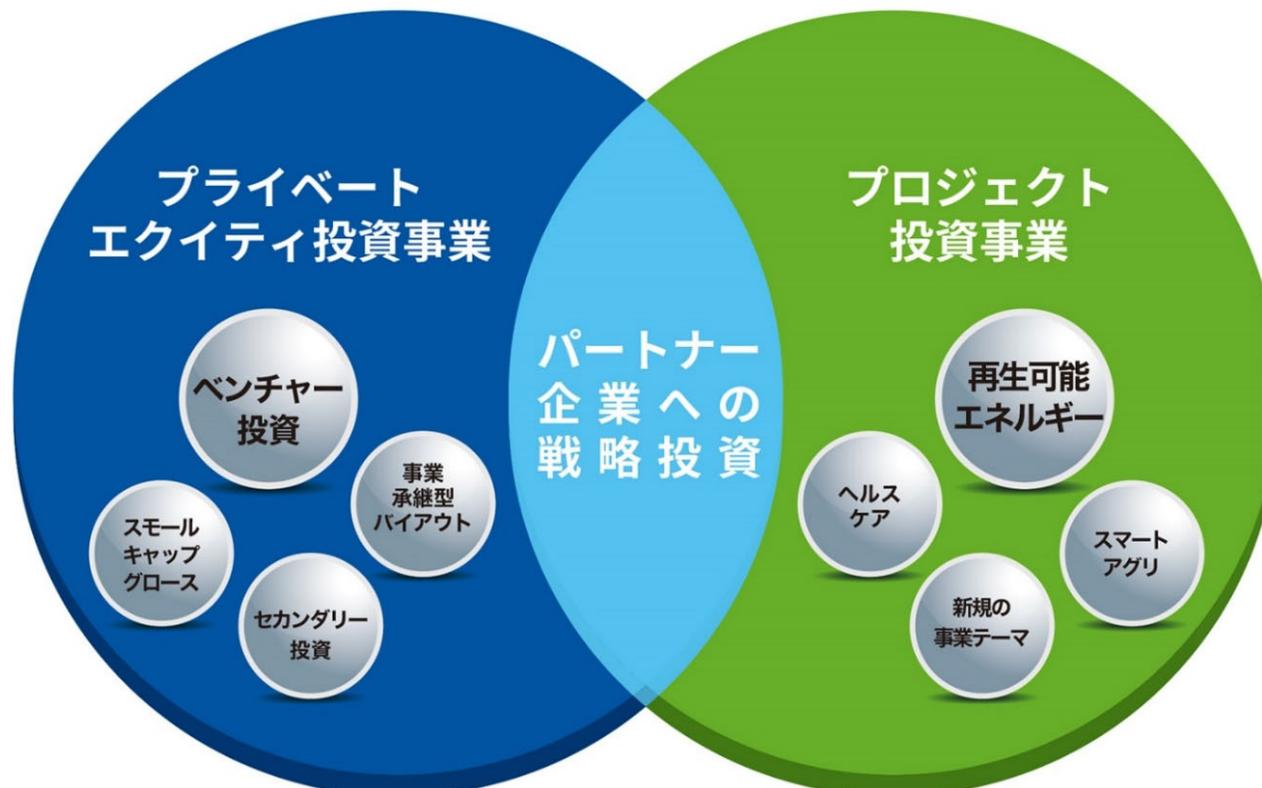
・業績、財務状況

(単位:百万円)	18年3月期	19年3月期	20年3月期	21年3月期	22年3月期	22年3月期 第2四半期	23年3月期 第2四半期
業績							
営業収益	5,403	2,475	2,760	3,089	2,409	381	669
営業総利益	2,328	1,286	1,359	1,301	1,276	53	△46
販売費及び一般管理費	1,311	1,109	1,094	1,086	1,189	550	552
営業利益	1,017	177	265	214	86	△496	△598
経常利益	954	83	140	173	61	△538	△640
親会社株主に帰属する当期純利益	874	578	302	144	49	△643	△655
財務状況							
現預金	7,308	5,564	3,920	3,699	2,740	2,015	2,394
営業投資有価証券・貸付金(プロジェクト投資)	3,582	5,514	5,437	5,583	6,781	6,475	5,868
営業投資有価証券(戦略投資投資)	373	373	1,005	1,155	1,783	1,483	1,665
引当後 営業投資有価証券(フィナンシャル投資)	5,657	4,765	4,282	3,111	3,029	2,974	2,957
借入金	11,954	9,784	8,166	6,950	5,943	6,253	5,448
自己資本	6,545	6,840	7,223	7,338	7,779	6,640	7,019
総資産	19,220	17,305	15,800	14,657	14,972	13,740	13,576

営業収益・営業原価 内訳



(単位:百万円)		18年3月期	19年3月期	20年3月期	21年3月期	22年3月期	22年3月期 第2四半期	23年3月期 第2四半期	増減率(%)
1.	投資事業組合等管理業務								
	管理運営報酬等	277	241	199	169	154	81	69	△14.7%
	成功報酬	86	-	-	-	-	-	-	-
	営業収益	364	241	199	169	154	81	69	△14.7%
	営業原価	-	-	-	-	-	-	-	-
	営業総利益	364	241	199	169	154	81	69	△14.7%
2.	投資業務								
	営業投資有価証券売却高	3,219	1,746	2,349	2,221	1,573	176	441	150.4%
	組合持分利益・インカムゲイン等	1,677	429	172	648	631	95	136	42.2%
	営業収益	4,897	2,176	2,521	2,870	2,204	272	578	112.3%
	営業投資有価証券売却原価	2,469	554	965	1,249	810	131	320	144.1%
	営業投資有価証券評価損・ 投資損失引当金繰入額	562	579	245	194	145	124	275	121.2%
	組合持分損失等	36	49	184	336	167	66	113	70.3%
	営業原価	3,069	1,182	1,395	1,780	1,123	322	709	120.0%
営業総利益	1,827	993	1,125	1,090	1,081	△50	△131	-	
3.	その他								
	営業収益	142	57	40	49	50	27	22	△18.2%
	営業原価	5	6	5	7	10	4	6	35.9%
	営業総利益	136	51	34	41	40	22	16	△29.1%
合計									
連結営業収益	5,403	2,475	2,760	3,089	2,409	381	669	75.8%	
連結営業原価	3,074	1,188	1,401	1,788	1,133	327	715	118.8%	
連結営業総利益	2,328	1,286	1,359	1,301	1,276	53	△46	-	



プライベートエクイティ投資

- 成長性の高いベンチャー企業やスモールキャップ企業、事業承継問題を抱える中小・中堅企業に対し成長資金を投資
- 投資後は、当社が日本とアジアに有するリソースを活用して、企業の成長戦略を支援

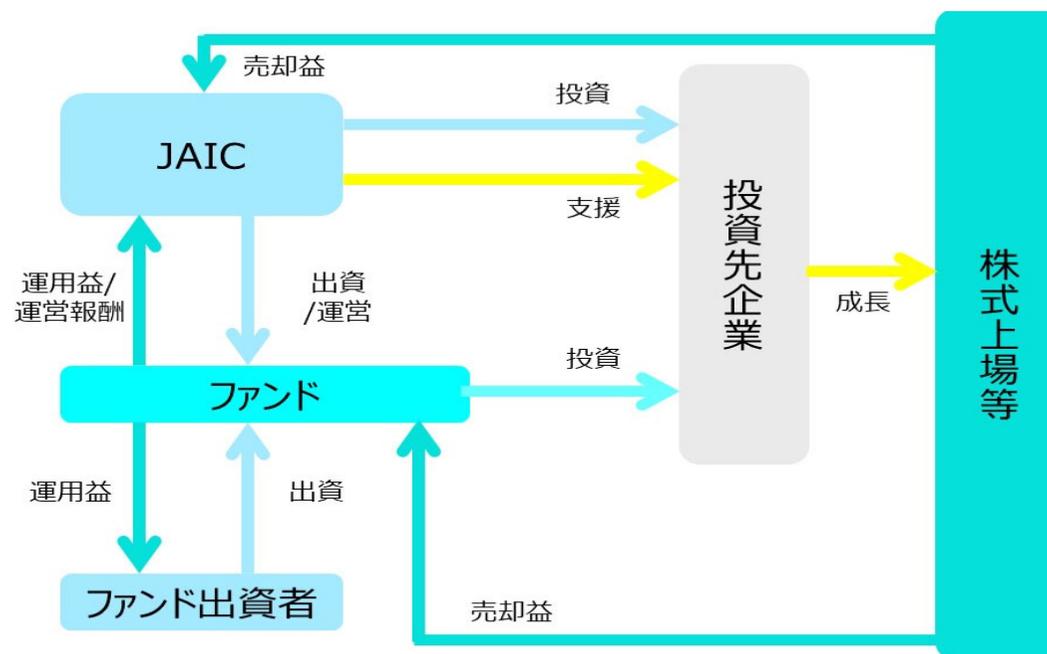
戦略投資

- 当社の注力する事業テーマに関連する企業に、戦略的な投資
- 投資後は、当社が事業上のパートナーとなり、事業での協業を通じて、資金支援や営業支援を実施

プロジェクト投資

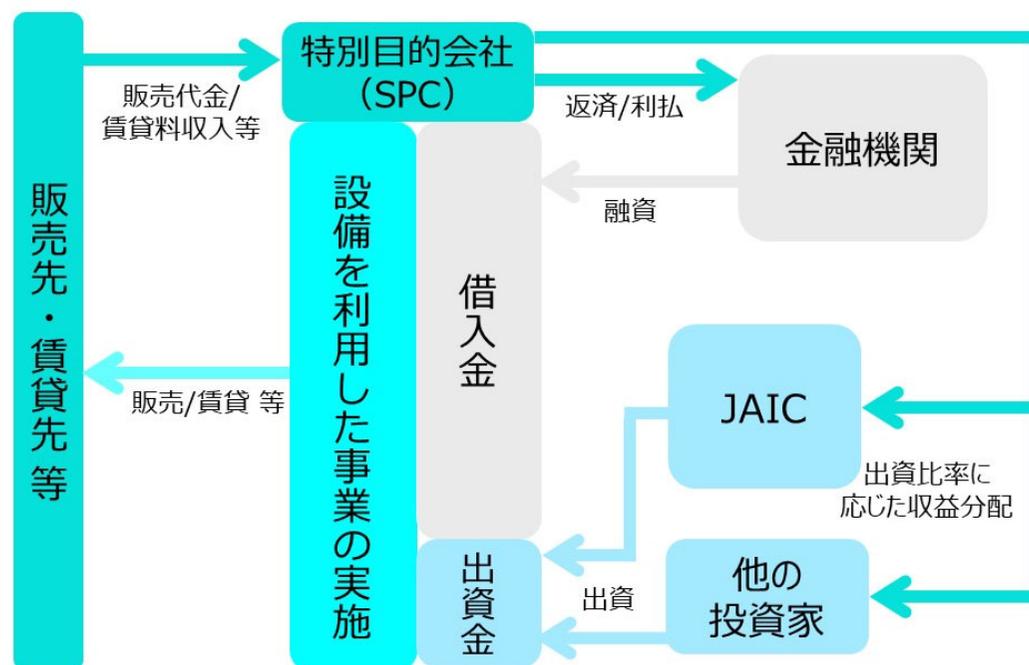
- メガソーラーなどの再生可能エネルギー、介護施設などのヘルスケア、植物工場などのスマートアグリ、物流施設、その他多様なプロジェクトに投資
- 原則として、プロジェクトファイナンスによる融資資金を活用し投資の採算性を追求

収益構造 - プライベートエクイティ投資



- ✓ 日本を含むアジア地域におけるベンチャー企業や中堅・中小企業等を中心とした有望企業へ投資し、育成・支援を通じて投資先企業の企業価値を高め、株式の売却益を得ることを目的とした投資活動の過程で得る企業のニーズを基にM&Aの仲介業務も行う
- ✓ プロジェクト投資のパートナー企業に対する「戦略投資」と、それ以外の「フィナンシャル投資」の2種類
- ✓ 戦略投資を行った企業には、株主としての支援だけではなく、パートナーとして共にプロジェクトを運営し、その成長を支援
- ✓ フィナンシャル投資の特徴は、長年の経験により蓄積された上場支援に加え、広いネットワークを活用した海外展開支援や営業支援を行う
そのために、中国の政府系機関やアジア諸国のパートナー企業と業務提携などを行い、アジアのネットワークを構築

収益構造-プロジェクト投資



- ✓ 発電所、工場、住居施設、倉庫といった設備を保有するSPC(特別目的会社)に対して投資を行い、これらの設備を建設し、完成後の設備の運営により生み出される利益から投資に対する分配を受領
完成後に設備を売却して利益を得る場合もある
- ✓ 再生可能エネルギー、ヘルスケア(高齢者向け施設、障がい者グループホーム)、スマートアグリ(植物工場)、ディストリビューションセンター(物流施設)等のプロジェクトへ投資
- ✓ プロジェクトの建設・運営にかかる資金の多くを金融機関からの負債性資金で調達することで、少額の投資資金で高い採算性を追及
- ✓ 多様な分野のプロジェクトに機動的に投資を行うために、プロジェクトの企画や開発に精通したベンチャー企業とパートナーシップを組んで取り組む

JAICの強み

投資候補となる企業やプロジェクトの発掘を通じて、専門性の高い、業界の最先端の動向を把握

最先端の
業界情報収集力

アジアでの歴史

1981年に経済同友会を母体に設立されて以来、35年に亘り日本とアジアの経済交流に貢献し、アジアでの高い知名度を有する

JAIC

ファイナンス
スキーム構築力

ベンチャー企業との
ネットワーク

- 国内外で3,300億円の累計投資実績
- プロジェクト投資事業では、当社からの投資資金だけでなく、プロジェクトファイナンスなどの融資資金も交えた調達スキームを構築

- 国内外で300社超の上場実績を有し、これまでの投資活動を通じて、多数のベンチャー企業と親密な関係を構築
- そのネットワークを、投資先企業の支援や、当社が新規事業テーマを開拓する際のアライアンスに活用

SDGsへの取り組み

SDGs投資会社である事を当社のコアバリューとし、
経営理念に基づきSDGsを強く意識した投資活動を徹底する

Environment

再生可能
エネルギー

プロジェクトのパートナー企業に投資をするとともに、プロジェクトへの投資を通じて環境負荷の軽減に貢献



Social

スマート
アグリ
(植物工場)

プロジェクトへの投資を通じて、農業人口の減少や高齢化による諸問題や気候変動、食の安全に対するソリューションを提供



ディストリビューション
センター
(物流施設)

プロジェクトへの投資を通じて、生産性の高い社会の実現や地域産業の活性化と雇用の創出に貢献



高齢者
施設

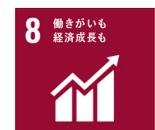
障がい者
グループホーム

プロジェクトへの投資を通じて、包摂的かつ安全でより住みやすい社会の実現に向けたソリューションを提供



プライベート
イクイティ投資

投資先企業が行うイノベーションや既存事業の再活性化により、生産性向上や労働力の補完を促進
中小企業の事業承継を支援するファンドの運営により、包摂的かつ持続可能な産業化を促進



Governance

経営体制

取締役7名中4名が独立社外取締役／独立社外取締役を取締役会議長として起用／任意設定機関「評価委員」により業務執行取締役の人事・報酬の評価を実施／取締役会の実効性の自己評価の実施と結果の開示／実効性のある監査等委員会監査や内部監査の実施

会社概要(2022年9月末現在)

会社名	日本アジア投資株式会社(略称)JAIC
本社所在地	東京都千代田区九段北3丁目2番4号
設立年月日	1981年7月10日
資本金	5,426百万円
株式上場市場	東京証券取引所 スタンダード市場(証券コード:8518)
従業員数	単体21名/連結40名
事業領域	プライベートエクイティ投資、プロジェクト投資
役員	取締役会長(独立社外) 川俣 喜昭 : 取締役会議長 代表取締役社長 下村 哲朗 取締役(常務執行役員) 八田 正史 取締役 大森 和徳 : 監査等委員長 取締役(独立社外) 安川 均 : 監査等委員 取締役(独立社外) 沼波 正 : 監査等委員 取締役(独立社外) 片桐 春美 : 監査等委員

- ✓ この資料（以下「本資料」といいます。）は、日本アジア投資株式会社（以下「JAIC」といいます。）の連結決算情報についての情報提供のみを目的としており、有価証券の取得その他の投資勧誘をするものではありません。
- ✓ 本資料に記載された将来に関する事項は、資料作成時点での当社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではありません。また、今後予告なしに変更されることがあります。本資料に含まれる意見や予測などについては、様々な要因の変化により、実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があることをご留意下さい。
- ✓ 本資料に含まれる情報は全て、JAICが著作権その他一切の権利を有しており、JAICの許可無く複製したり転用することは禁じられております。
- ✓ 本資料内の業績数値は全て従来連結基準にて表示しております。



お問合せ先:管理グループ 岸本・丸山

ir@jaic-vc.co.jp